

# 九州産業考古学会報

第31号 2020年11月18日発行 発行元：九州産業考古学会



## 産業遺産の調査・催しの再開を楽しみに

天野武弘（産業遺産学会会長）

2020年に入って突然襲ってきた新型コロナウイルス。その猛威は日本のみならず世界を震撼させ、社会、経済を混乱させている。文化、芸術も停滞を余儀なくされ、存続の危機に立たされているところも耳にする。学会活動も動きが制限され、産業遺産学会の総会、全国大会は中止となり、年に一度か二度の顔なじみと語る楽しみも先送りされている。私自身の楽しみの一つである産業遺産を訪ねることも、この半年近く待機をせざるを得なかった。未だ収束の気配のないコロナ禍であるが、許される限りの動きをしないと何か鈍ってしまう、そんな心境でもある。

そうした中、私の住む愛知県では、コロナ禍で延期となっていたシンポを7月に行うことができた。3月に予定していた中部産業遺産研究会主催のシンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回で、テーマは「服部長七と人造石工法」であった。明治10年代から30年代に愛知県出身の元左官屋で人造石工法の開発者であり土木業者として名を馳せた服部長七、その没後100年を記念して、人造石工法に再び光を、を趣旨に開催したシンポであった。

中部産業遺産研究会ではこのシンポを毎年1回開催してきたので、今回で38年目となったが、延期は初めてのことであった。でも開催地の愛知県碧南市の協力と会場定員の半数以下とする人数制限はじめ、万全の感染防止策をとりつつ、50名の参加者で開催できたことは幸いであった。九州や関西、関東からの参加もあり、各地で様々な催しが制限される中、それだけ待ち焦がれた開催ともなったようであった。

一方、オンラインでの会議や講演会がにわかに盛んになり、私のような年寄りには隔世の感もあるが、それでも何度かのオンライン会議、オンライン講演も経験し、時代の移り変わりの一端に触れることになった。しかし、やはり直接人と接し、対面で語り合うことの重要さは今もこれからも変わることはない。とくに産業遺産の調査は「モノをして語らしめる」と言われるように、実物資料に接し、目で見、可能なモノは指で触れる、こうした現地、現物調査なくして成り立たないと思っている。

新しい時代に対応しつつも、フィールドワークを主とする調査研究の原点はいつの時代になっても変わらないと信じている。産業遺産の現地調査、見学会、講演会、シンポに大手を振って行けるときを、また楽しみにと思う。

## 【お知らせ】

### 科研費研究成果

## 写真展「焼かないれんがのものがたり・鉦滓煉瓦・《里帰り編》」及び シンポジウム「焼かないれんがたちからみる「材料史学」の可能性」 のお誘い

事務局市原の科研費研究成果写真展及びシンポジウムを来年 1 月に北九州市八幡東区にて追加開催、今回は九州産業考古学会が共催いたします。ぜひとも皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

#### ・写真展「焼かないれんがのものがたり・鉦滓煉瓦・《里帰り編》」について

会場：北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

(北九州市八幡東区西本町 1 丁目 20-2・JR 八幡駅降りて左徒歩 5 分)

会期：2021 (令和 3) 年 1 月 17 日～2 月 6 日 10 時～18 時

初日は 13 時から、最終日は 16 時まで

入場料：無料

#### ・シンポジウム「焼かないれんがたちからみる「材料史学」の可能性」について

会場：北九州イノベーションギャラリー・プレゼンテーションスタジオ

(北九州市八幡東区西本町 1 丁目 20-2・JR スペースワールド駅徒歩 3 分)

期日：2021 (令和 3) 年 1 月 30 日 13 時 30 分～17 時

入場料：無料

シンポジウム次第

13:30 開会 (13:00～会場受付)

13:40～15:40 各種素材の概要説明

15:50～16:50 シンポジウム「材料史学の可能性について」(17:00 終了予定)

出演者：天野武弘 (産業遺産学会長、人造石工法 (長七たたき) 研究)

市原猛志 (研究代表者・主催団体理事、鉦滓煉瓦 (水硬式) 研究)

京牟禮実 (きずな開発研究所代表、中村式鉄筋コンクリートブロック研究)

小西伸彦 (就実大学講師、からみ煉瓦研究)

領塚正浩 (市川考古博物館学芸員、からみ煉瓦研究)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各内容や出演者に変更が生じる場合があります)

主催：NPO 法人北九州市の文化財を守る会 共催：北九州市世界遺産課、九州産業考古学会

後援：福岡県世界遺産室、中間市、(一財)産業遺産国民会議、産業遺産学会、NPO 法人門司

赤煉瓦倶楽部、中村式鉄筋コンクリート研究会

詳しい内容は、九州産業考古学会ウェブサイト等にも逐次更新予定です。シンポジウム参加申し込みについては、旧百三十銀行ギャラリー (Tel:093-661-9130) または市原 (iota\_titanus@yahoo.co.jp) までご連絡ください。

## 【お知らせ】

### 令和二年度総会について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため順延しておりました、九州産業考古学会令和二年度総会について、越年となりましたが、昨年と同じ会場の北九州市立旧百三十銀行ギャラリーにて下記の要領で開催いたします。

日時：2021年1月30日（土）

午前10時30分から

会場：北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

（北九州市八幡東区西本町1丁目20-2）

内容：事業報告及び計画・会計報告・懸案事項 その他

午後からは九州産業考古学会の共催企画として、前頁にて記述したとおりシンポジウムを開催予定です。こちらにも是非ご参加検討ください。

皆様のお越しをお待ち申し上げます。



## 【書籍紹介】

福岡県教育委員会『福岡県の戦争遺跡』

木元富夫（顧問）

今回もいささか入手困難な本で恐縮するが、多大の価値あるゆえに紹介したい。戦後75年となって、戦争を直に見聞した証人も、関連遺跡も消滅しつつあるが、本書は県教委が県下の「戦争遺跡の体系的な整理と評価を行い、報告書として取りまとめ」たもので、「戦争の記憶・記録を次代に継承していくための一助」となることが期待されている。このような取り組みは沖縄県に次いで2例目という全国的に貴重なものであるだけに、文化財調査報告書とはいえ、

小部数しか作成されなかったのは残念なことである。（福岡県のサイトから丸々ダウンロード出来るようになったのは有り難いが、地図が鮮明でない。改善してもらいたいところ。）

内容は総論に続いて、本論として30ヶ所以上の代表的な戦跡がカラー写真入りで取り上げられ、考証・評価されている。後半はいわば資料編で県内624件の戦跡、1025件の忠霊塔・慰霊碑類が掲載されているが、その1件1件について所在地や現状、史実、参考文献などが、小さい字で可能な限り詳細に書かれている。参考文献一覧があるだけでなく、主要文献については戦跡関連記事の要旨がページ数まで示して集成されているなど、本書に込められた情報量は歴大である。関係各位の御苦労がしのばれるが、本書を土台にして今後さらなる成果が積み上げられ、戦跡への理解が深まることだろう。

産業遺産の産業(industry)の原義は勤勉であったが、それが産業革命以来専ら工業を意味するようになり、21世紀の今ではサービスや情報が優位化して、産業の歴史的含意が見失われがちである。戦争遺跡は産業の枠をはみ出す部分があるが、産業の持つ歴史的意義を考えるのに重要な示唆を与えてくれる。本書を紹介する所以である。

なお九州の戦跡と言えば、花田勝広編著『北部九州の軍事遺跡と戦争資料—宗像沖ノ島砲台と本土決戦—』（サンライズ出版、2020年、4400円）が公刊されたが、これが小会報で前回紹介した、花田勝広著『北部九州の軍事遺跡と本土決戦—沖ノ島砲台と宗像—』（2016年、非売品）と同じ内容のものであるかどうかはまだ確認していない。

（本書副題「福岡県文化財調査報告書 第274集」福岡県教育委員会、2020年3月発行、限定出版につき在庫なし）

◇◇会報原稿募集（会員外でも応募できます！）◇◇

『九州産業考古学会報』への積極的な投稿をお願いします。募集原稿は【報告】（700字～1400字程度）や【研究発表】（1400～2800字程度）、【お知らせ】（400字以内）など。いずれも図表を入れる場合文字数要調整。また紙面の都合上、文面レイアウトに関して編集側で変更する場合があります。投稿に関する詳しい情報は学会ウェブサイト及び事務局まで。

■■会報第31号・目次■■

【巻頭言】

産業遺産の調査・催しの再開を楽しみに  
……………天野武弘 1

【お知らせ】

令和二年度総会について …………… 3

【お知らせ】

科研費研究成果写真展「焼かないれんがの  
ものがたり・鉦滓煉瓦・《里帰り編》」及び  
シンポジウム「焼かないれんがたちからみ  
る「材料工学」の可能性」のお誘い  
…………… 2

【書籍紹介】

福岡県教育委員会『福岡県の戦争遺跡』  
……………木元富夫 3

【お知らせ】

今後の予定 …………… 4  
会費納入・ご寄付のお願い …………… 4

今後の予定		会費納入・ご寄付のお願い
12月		
2021年 1月17日 ～ 2月6日	研究成果写真展「焼かないれんがのものがたり・鉦滓煉瓦・《里帰り編》」 (北九州市立百三十銀行ギャラリー)	当会は年会費を個人会員 2000 円、団体会員は 5000 円それぞれ徴収しています。当会の趣旨をご理解頂き、会費納入或いはご寄付の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。
1月30日	科研費シンポジウム(KIGS)	
1月31日	中間市鉦滓煉瓦フットパス (要予約・中間市地域交流センター)	会費納入・寄付先口座(一覧) ・ゆうちょ銀行 17430-88882241 キョウシュウサンギョウコウコカツカイ ・福岡銀行大牟田支店(店番 691) 普通 1914369 九州産業考古学会
2月		

<編集後記>

総会が翌年まで延期され、産業遺産学会も年内の行事がストップする中、なんとかあがっている状況です。8月に開催した研究成果写真展「焼かないれんがのものがたり—鉦滓煉瓦—」にお越しくくださった皆様に感謝申し上げます。追加開催となりましたので、前回ご都合がつかなかった皆様にも是非ともお越し頂ければと願ってやみません。（市原）

九州産業考古学会事務局 〒811-3430 福岡県宗像市平井二丁目 12-1 砂場一明 気付  
TEL&FAX : 0940-36-5501 E-mail : k-sunaba@jcom.home.ne.jp URL : <http://kias.kilo.jp/index.php>  
学会ML 希望者は、上記アドレスもしくは Web 担当者 (iota\_titanus@yahoo.co.jp) まで連絡願います。